

JAXA 産学官連携シンポジウム 2006「宇宙×イノベーション」の
開催結果について(報告)

平成 18 年 12 月 20 日
宇宙航空研究開発機構
産学官連携部長 石塚 淳

1. 報告事項

平成 18 年 12 月 7 日(木)に開催した JAXA 産学官連携シンポジウム 2006「宇宙×イノベーション」の開催結果について報告する。

2. 開催概要

- (1)開催日時:平成 18 年 12 月 7 日(木)
13:00 ~ 18:00(終了後、懇親会)
- (2)開催場所:大手町サンケイプラザ(東京都千代田区)
展示スペースでは、宇宙オープンラボ、スピンオフ実例などを紹介。
- (3)主催:宇宙航空研究開発機構(JAXA) 産学官連携部
- (4)後援:文部科学省/総務省/経済産業省/(社)日本経済団体連合会
- (5)プログラム:別添1の通り

3. 開催結果

4 回目を迎えた今年は「宇宙×イノベーション」と題して開催。

今回のシンポジウムは約 470 名が参加、終了後の懇親会(会費制)も約 200 名が参加するなど、大変盛況であった。

シンポジウムにおいては様々なフィールドの第一線で活躍中のイノベーション先駆者・有識者による基調講演のほか、宇宙に関係したものづくりビジネスに魅せられた方々による実例紹介や宇宙のイメージ・感性を生かしたビジネスを展開している方々による実例紹介を行なった。

4. 成果等

アンケート結果より、参加者の半数以上が産学官連携シンポジウムに初めて参加している。シンポジウム後に問合せが増加しており、宇宙のしきいを下げ、新規プレーヤーを宇宙に呼び込むきっかけとして効果的であった。また、宇宙になじみのない方でも理解しやすいテーマ設定を心がけ、アンケート回答者の約 73%がシンポジウムの内容に対して満足したと回答した(『普通』を含めると約 89%)。登壇者の熱い思いに感動したとの声も聞かれ、宇宙発イノベーションについて理解増進を行うことができた。

シンポジウムには、22 媒体 24 名のメディア関係者が参加し、複数の媒体にとりあげられ(12 月 13 日のテレビ東京「ワールドビジネスサテライト」での特集等)、JAXA の産学官連携活動について効果的にアピールする

ことができた。

今回の成果をもとに、宇宙産業のイノベーションや、新たな宇宙ビジネスの促進に引き続き取り組んでいきたい。

以上



シンポジウム会場の様子



米倉氏の基調講演



メガスター によるプラネタリウムショーを実施



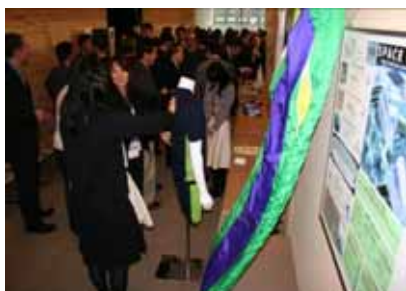
パネルディスカッションの様子



宇宙旅行ウェアをテーマにしたファッションショーの様子



古川宇宙飛行士の呼びかけでロシア人宇宙飛行士セルゲイ・アウデエフ氏がディスカッションに参加



盛況の展示会場



メディアも多く参加

「宇宙×イノベーション」
JAXA 産学官連携シンポジウム 2006 プログラム

(敬称略)

13:00-13:05	開会挨拶: JAXA 理事長 立川 敬二
第1部	
13:05-14:05	「イノベーションと宇宙産業」 一橋大学イノベーション研究センター教授 米倉誠一郎
14:05-15:05	「ホンダに見る次世代成長戦略: 新事業開発マネジメントの実践」 本田技研工業株式会社 新事業推進室 室長 山田清実
小休憩(10分)	
第2部	
15:15-16:00	「宇宙技術で拓く、イノベーションの可能性」 システム・インテグレーション株式会社 代表取締役社長 多喜義彦
16:00-16:10	「産学官連携による宇宙発イノベーション」 JAXA 産学官連携部 部長 石塚淳
小休憩(10分)	
第3部	
16:20-17:10	宇宙のモノづくり魂～オトコゴコロ×宇宙～ 進行: 産学官連携部連携企画グループ 副グループ長 岩本裕之 有限会社大平技研 メガスター開発者 大平貴之 株式会社植松電機 専務取締役 植松努 有限会社オービタルエンジニアリング 取締役社長 まんてんプロジェクト 理事 山口耕司
第4部	
17:10-18:00	宇宙的感性～オンナゴコロ×宇宙～ 進行: 日本女子大学 家政学部・大学院 教授 多屋淑子 進行: 産学官連携部連携推進グループ 副グループ長 内富素子 株式会社資生堂 特許部長 福井寛 マリアージュ ドゥ ファリーヌ シェフパティシエ 辻口博啓 エリ松居 JAPAN 代表 松居エリ 特別コメンター: JAXA 宇宙飛行士 古川聡
18:00	閉会挨拶: JAXA 副理事長 間宮馨
18:15-20:00	懇親会